

抄録をご提出の際に、以下の項目を各自ご確認の上、抄録をご提出ください。内容に不備があった場合は、提出された抄録を受理できない場合があります。なお、このチェックリストの提出は不要です

確認すべき事項	チェック欄
【原稿について】	
○原稿の内容は、他の学会や雑誌などの紙面で発表予定のもの（投稿中も含む）もしくはすでに発表されたものではない（施設内発表、および看護協会支部での発表は可）	
○タイトルは14ポイント、本文は10.5ポイントとし、明朝体で記載している	
○「はじめに」で、実践を報告、もしくは振り返ろうと思った背景を述べている	
○「目的」で、実践を報告、もしくは振り返る目的を述べている	
○「方法」で、どの時期の実践をいつ、どのように振り返った、もしくはまとめたかを述べている	
○「倫理的配慮」で、実践報告に際し、個人情報の保護が担保されていること、また実践を報告するにあたって倫理委員会で承認を受けていることを述べている	
○「結果」で、今回報告しようとする実践内容に焦点を当て、実践の意図・目的が伝わるように、必要に応じて、患者情報、看護問題、実践内容、実践の評価について述べている	
○「考察」で、得られた結果、実践内容に基づき、行った実践を目的に沿って考察している	
○「結論」で、今回の実践報告で得られた知見を簡潔に述べている	
○原稿は、演題募集要項の集録原稿作成方法に沿って作成している	
○略語は初出時に完全な用語を用いている	
○臨床で用いられている通称は使用しておらず、用語が正式な名称であることを確認している	
○本文、図表等は、白黒印刷で判別できる明瞭なものになっている	
○原稿は、発表者、共同研究者全員の氏名と所属を記載している	
○薬剤名は、商品名ではなく一般名を用いている	
【倫理的配慮について】	
○対象者へ実践報告の内容の公表などについて説明し、承諾を得ている	
○対象が特定できないよう配慮している。固有名詞（当院・当病棟を含む）を使っていない	
○実践報告の対象となることによって、対象者に不利益や負担が生じないよう配慮している	
○文献から図表や本文を引用する場合、著作権に配慮し出典を明らかにしている	
○既存の尺度を用いる場合、著作権に配慮し出典を明らかにしている	
○倫理委員会等の審査を受けている。または、看護部等の承認を得ている	
○利益相反の有無について明記している	